

旭川医大病院ニュース

題字は吉岡前病院長
 (編集)
 旭川医科大学医学部附属
 病院広報誌 編集委員会
 委員長
 天羽教授(放射線科)

厚生省並みに道の共同指導について

夏 輸

例年になく連日30度を越える猛暑の夏であった。去る七月三十一日、開院以来初めて厚生省と道による「保険診療」の共同指導が病院会議室で行われた。指導には、診療関係では厚生省から三名、道衛生部から二名、計五名の指導監督官、基準サービス関係では厚生省及び道から事務官五名が来られ、日医及び道医関係者三名の立ち合いのもとに、三月分及び四月分の当院請求レセプトと病歴記載内容との突合、療養担当規則との照合が行われた。

例年になく連日30度を越える猛暑の夏であった。去る七月三十一日、開院以来初めて厚生省と道による「保険診療」の共同指導が病院会議室で行われた。指導には、診療関係では厚生省から三名、道衛生部から二名、計五名の指導監督官、基準サービス関係では厚生省及び道から事務官五名が来られ、日医及び道医関係者三名の立ち合いのもとに、三月分及び四月分の当院請求レセプトと病歴記載内容との突合、療養担当規則との照合が行われた。

種々あった指導内容のうち最も重要な点として「カルテへの傷病名の記載洩れ、カルテとレセプトの傷病名の不一致」が指摘され、保険医療機関として「保険療養担当規則」に準じたカルテの記載が要求された。大

【診療関係】

一、診療録の記載等について

二、診療内容について

三、基準サービス関係

三、基準履具

学病院では一般開業医と異なる医局員の保険診療に対する関心が薄く、保険診療の基本ルールに無関心を傾向が否めない。しかしルール(療養担当規則)は必ずれた保険診療は大学病院としても許される筈もなく、今回を機会に十年間使用して来た本院のカルテ様式の再検討も含めて、これらの指摘点を改善すべく努力したいものである。八月二十二日、医長会を開き今回の指導について反省会をもったが、各診療科において

も周知徹底されるよう要望したい。以下に当日の主な講評内容をあげる。

- ① カルテの様式に、定められた様式と異なる部分がある。
- ② カルテの記載について、処方内容等記載内容の責任を明らかにする等の工夫をすること。
- ③ 又、記載内容の訂正を行う場合、修正液を使用する事は不適切であり、二本線で訂正すること。
- ④ カルテ、特に入院カルテにほとんど傷病名が記載されていないこと、又、カルテとレセプトの傷病名が不一致のものがあり、改善されたい。更に療養担当

- ① 検査について、蛋白分画とA/G比の同時実施、全身シンチ等の画像診断、ホルモン検査、甲状腺機能検査、β2マイクログロブリン検査等の検査項目は選択を慎重に、かつ段階的に行い、又、検査結果を充分診療に活用すること。
- ② 生化学検査等、検査結果が正常にも拘わらず頻回に行ったり、不必要な検査を行うことのないよう改善すること。
- ③ 糖尿病患者者にウロキナーゼを使用した例において、投薬、注射は必要があると認められたときに行うとともに、カルテには、投薬、注射の目的が分かるよう

- ① 記載すること。
- ② 耐糖能精密検査(血中インシュリン測定を含む)の算定に際し、別に血中インシュリン測定が請求されている例がある。
- ③ 主治医の実施していない糖負荷試験と検査用トレーランGが請求されている例があるので、院内審査体制を強化してチェックすること。
- ④ 翼状針について、算定条件を満たさない例があるので、処置伝票等を分かりやすくすること。
- ⑤ ヨードホルムガーゼを処置の衛生材料として算定している例がある。
- ⑥ 細菌感受性検査において、菌が検出されない場合にも算定している例がある。
- ⑦ 特殊縫合糸は、適用が明確でないため製品名を記入すること。

- ① 看護目標、看護計画が作成されていない例があるので、患者入院の際は速やかに作成すること。
- ② 看護記録が、毎日記載されていない例があり、正しい評価ができないので、毎日記載すること。
- ③ 基準給食

- ① 在庫量が作成されていないので、材料管理を的確に行うため、早急に備え付けること。
- ② 食事箋に医師のサインもれ及び傷病名もれがある。



最先端医療の紹介 痴呆を治す薬(抗痴呆薬)

わが国が高齢化社会を急速に迎へつつあることはよく知られている。昭和五十九年九月十五日現在、六十五歳以上の高齢者は総人口の九九%を占め、実数にして約一、九四万人であった。そして、その四、五%が痴呆の症状をもっていることは多くの統計が示している。したがって、現在わが国には約五〇―六〇万人の痴呆高齢者がいることになる。さて、脳の老化過程そのものの発現機序が不明ゆえ、老年期の痴呆を完全に予防することは難しい。そこで、近年とみに抗痴呆薬に対する関心が高まり、老化した脳の神経細胞の機能を改善させようとする薬物が次々に開発されつつある。すでに比較的良好に用いられている抗痴呆薬としては、脳の糖質代謝の促進に関与していると考えられるホパントニン酸カルシウムやガンマーアミノ酪酸のほか、メシル酸ジヒドロエルゴトキシン、酒石酸イフェンプロジル、マレイン酸シネバジドなどがあり、従来、パーキンソン

ン病の治療に用いられてきた塩酸アマタジンも抗痴呆薬の仲間入りをした。もちろん、これらの薬物に加えて、目下開発中のものも幾つかある。いずれの抗痴呆薬も記憶力、見当識、計算力などの障害を改善するのに役立ち、痴呆にしばしば合併する症状(自発性低下、感情障害、対人接触障害、日常生活動作の障害、失禁など)にも効果が示したという研究報告が少なくない。しかし、抗痴呆薬によって痴呆が完全に治るといふ訳ではない。薬物療法はもちろん必要であるが、患者自身の努力や家族の援助を得て、患者の心

身に対して常に適度の刺激を与えることが、痴呆という厄介な症状の進行を食い止める上できわめて有効であることは、古くから経験の教えるところである。私共の診療科でも各種の抗痴呆薬の効果を積極的に検討すべく努力しており、日進月歩の新薬開発によって、やがてはすばらしい抗痴呆薬が生まれるに違いないと大いに期待しているのである。(六十・八二)

(教授 宮岸 勉)



最先端医療の紹介 尿管結石に対する手術療法

尿管結石は今までは手術療法によつていたが、患者さんにとつては開腹による苦痛とともに腎機能を障害する危険があり、術後結石の残存や再発の例が多いことが問題であった。最近これに対し開腹によらずに結石を摘出する方法が相次いで行われるようになり注目を浴びているので紹介する。

瘻を造設することは容易となった。経皮的尿管結石摘出術は、この方法で皮膚に約1cmの切開を加え、各種器具にて直径1cmの腎瘻を作成し、腎盂鏡を挿入し直接結石を観察下に摘出しする方法である。1cm以下の結石は把持鉗子でつまみ出し、1cm以上の結石は超音波あるいは他の方法で破碎する。この方法は従来の開腹手術に比べて患者さんは非常に楽で、手術侵襲、合併症も少く、再手術例でも容易に行い得る。当教室で

もこれまで40例に対して行い、非常に良好な成績をあげている。またこの方法とは別に、最近、硬性尿管鏡が出現し、尿管結石に対して経尿道的なアプローチが可能となつてきた。この経尿道的尿管結石摘出術は、全く外科的な侵襲を加えることなく、経尿道的に直径3.7mmの硬性尿管を尿管に挿入し大きな結石は破碎し小結石は鉗子で摘出す。当教室でも本年四月より硬性尿管鏡を導入し、先の方法と併せて尿管結石に対して開腹手術によらずに結石摘出を行っている。一方、最近テレビ、新聞で紹介されていゝる西独で開発された体外衝撃波による結石破碎

泌尿器科領域の各種画像診断及び治療法の発展に伴い腎症のない腎臓に対して開腹によらず経皮的に腎

は更に画期的ですばらしい方法である。この方法は身体を全く損傷することなく結石を破碎し排泄させる。しかし、上部尿管以上の結石に対しては適応が確立しているが骨盤部以下の尿管結石に対しては不適である。またこの装置は極めて高額であり保険適応外という問題もあつて医学的適応に問題ないとしても社会的適応についてはまだいろいろ問題があると思われる。ここに3種の方法を紹介したが、いずれの方法もまだ開発されて日が浅いが更に発展し開腹手術によつて変わっていくものと思われる。

(講師 稲田文衛)

看護制度改正への動き

一九七七年ILO看護職員条約・勧告が国際条約として採択されて以来、わが国でも看護協会を中心に、看護職の労働条件の改善、教育水準の向上、継続教育の確立等批准促進にむけての活動がくりひろげられてきた。中でも大きな問題は看護制度の改正に関する動きである。厚生省もこの三月に各界より十五名構成の看護制度検討会を発足させている。現在の制度は昭和二十三年の保助看法制定以来で、すでに三十七年たちその間に看護業務に求められる質的内容も変つてきた。医療が高度化する一方で、高齢化社会への対応としての中間施設での活動や在宅ケア等である。協会や一昨年来全国各支部を通じて、全会員に協会試案の検討を要請し、それらをまとめたものを今年五月の総会で、看護制度改正案として発表、先の厚生省の検討会にも提案したのである。

骨子は看護の基礎教育は四年制大学に、免許は看護師として一本化、卒後教育、継続教育の充実等であり、これらに伴い一九九〇年をめどに准看護制度を廃止し、その後十年間で准看護は進学講習、通信教育等により国家試験を経て国家登録への措置をとる具体案や、現職の保助看の経過措置として

は当分の間の学校存続、大学への編入制度等が示されている。又「免許名称の独占」は長年の念願であり、見習い看護師とか、副助産婦等と無資格者に勝手に看護職の名称をつけないように保助看法で規定するという点や、医師法、薬剤師法のように、任務と業務を規定し、専門職として社会的責務を明確にしようにしている点が新しいところである。

日本看護協会はこの制度改正にあたり、二十一世紀にむけて国民の要求に答えられる保険医療を確立するためにをスローガンとしているが、制度の検討は現職にいる私達一人一人が職場内で充分討議に参加すると共に、他の医療社会のスタッフや地域社会の人々の声を聴きながら、すすめていくものと考えられる。

昭和三十三年基準看護の改正ですでに死語となつていゝるはずの完全看護という言葉が未だにマスコミや、まして当大学内でも耳にしたり、道庁衛生部からの調査資料に補助看護婦という項目がのつている等、時々「看護」に関する誤解がみられるが、社会に理解を求めていくのも私達の務めであり、又、日常の看護業務をおして各自が努力を重ねていくことが、制度改正やILO条約批准の促進につながる道といえよう。

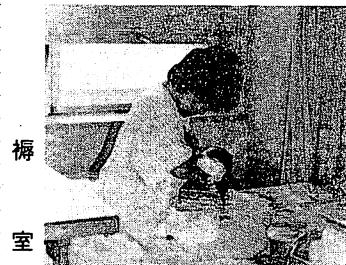
(看護部 増岡滋子)

4階西NSの紹介

4階西NSは「西」となっていますが、西棟に産科婦人科病棟、東棟に分娩室・新生児室を抱える唯一のワンフロアー通し病棟です。助産師18名、看護婦5名、看護助手1名の計24名で構成され、産科チームと婦人科チームに分かれて、看護業務を行っています。分娩という特殊な医療対象を受け入れる関係上、夜間入院の最も多い病棟であり、入院のめまぐるしい病棟といえます。又、四人夜勤で、人数だけを見ると、他NSから羨望されるのですが、ここ2年間の出生時間別分

46%と約半数の分娩が、夜間にあること、前述のとおり東西フロアーに動線を持ち、腫瘍などで重症の人、手術後の人、出産前後の母子、あるいは異常児と実母に多彩な人々を預けていることを考えますと、やむを得ない状況なのです。産科は、開院以来母児同室制の採用と母乳栄養継続を目指しています。現状をふまえ、育児が出来る様、入院中の赤ちゃんのお世話は沐浴を含め、出来る限り、お母さ

娩の割合は日勤54%、準・深夜勤務23%の計



梅室

んにしていただき、母乳栄養の大切さ、乳房マッサージなどを指導の上、退院する形をとっております。婦人科は、外科的治療、放射線治療、化学療法、あるいはこれらの併用療法と様々な病態の患者さんがおり、癌を宣告されるケースがあったり、長期入院や入退院をくりかえす等のケースもありませんが、実意欲的に関病して昭和59年度の入院数は90名、退院

数は84名で、入退院業務は繁雑を極めていますが、限られた時間と人数でいかに多くの仕事をするか、出来るかを信条に、患者さんにとり、治療効果が上がり快適な入院生活が送れ、且つ母児共に安全な分娩管理を行うことを目指しております。又、助産婦学生、看護学生の学習の場として、後輩を育成する際も同様に、「相手の心」を大切にすること、自らを律しつつ指導していったらと思います。「誕生から死まで」、女性の一生にたずさわる中、患者さんの涙や笑顔に教えられ、逆になぐさめられ、何より逆健康で働けることに感謝せずにはいられません。

新生児室

臨床検査技師

本院には検査部に116名、病理部に3名、合計119名の臨床検査技師が働いています。生化学・血液・細菌血・清心電図呼吸機能脳波など検査技師の担当部門が多いため、検査部の四部門は技師一名でやっています。受付ける検査は五百項目に近く、外注をのぞいても約二百五十項目あります。生化学検査室だけでも、多い日には三百五十名、数千件の検査をしています。緊急検査の飛び込みもあり、昼食が遅くなるのはむしろ普通です。時間外の緊急検査では違う部門の広い知識・

技術も要求されるため、毎年二名位が新しい部門に変わります。自動化の進んだ「生化学」でコンピュータの相手をし、「細菌」で昔ながらの熟練を要求され、「呼吸機能」で患者とうまく息をあわせるなど、専門分化した部門のローテーションは楽ではありません。正確と迅速が要求される臨床検査のため、「生化学」でのコントロール血清の使用など日々の精度管理に気が配られています。また日本医師会、日本臨床検査技師学会、さらには米国臨床病理学会の精度管理試験にも参加して、全部門が高い検査水準を保つように努力

しています。新しい検査法の検討、新しい機器の試用、更に突っ込んだ研究テーマの追求などは夜の仕事になるのが普通です。その成果は臨床病理学会、臨床検査技師学会、

病院で働く人々(5)

電気泳動学会などの全国学会で毎年報告し、専門誌に投稿しています。士気の高さとチームワークのよさが、少ない定員で頑張っている上での力になっているよう

です。本学の学生は一週間検査部で実習し、検査技師からいろいろな学んでいます。検査は多様化・専門化し、検体数の増加も避けられない現状から、技師定員の増加が望まれます(財政改革など国の方針からみて実現困難な情勢ですが)。数多い検査も一つ一つが患者の診療に役立っているという実感が強い程、仕事のやり甲斐があることでしよう。一方、項目選択や異常値に対する問い合わせなどからいろいろ感じていることともあるようにみうけられます。過不足のない検査は医師の生涯研修の一つのテ

	入院		外 来
	延患者数	稼働率	
7 月	16,236人	87.3%	15,472人
8 月	15,711	84.5	14,924
累 計 (60.4~8)	78,256	85.2	69,964

外来医長 小笠原博宣助手
眼科 (旧 宮本康平助手) (8月28日付)

《辞 職》
麻酔科助手 平田 哲 (7月31日付)
耳鼻咽喉科学講座助手 畑山尚生 (8月31日付)

《採 用》
麻酔科助手 藤井宏一 (8月1日付)
耳鼻咽喉科学講座助手 金岡延幸 (9月1日付)

《人 事 異 動》
ましたので、各部門の仕事内容などは省略しました。(第三内科 高杉佑一)



研修生実習指導

病理部の現状

本院には未だ正規の病理部は設置されていない。現在は日常診療に欠く事の出来ない特殊診断業務を担う暫定組織として編成され、日夜活動している。その業務内容は、手術材料や内視鏡生検材料等の病理組織検査(組織診)、喀痰・穿刺液・擦過材料等に含まれる細胞から悪性腫瘍(がん)の有無を判定する細胞診、そして不幸にして亡くなった患者さんの遺体につき、加えられた診療の水準を検証する病理解剖(剖検)の三つの柱から成っている。

組織診は、病気の確定診断や治療方針・予後を考える一つの指針として、身体の一部から切り取られた組織の顕微鏡診断を行う。組織を千分の数mmに薄切して顕微鏡標本を作る工程は自動化が不可能であり、熟練した技官の多大な労力に待たねばならない。ほとんど全診療科から利用されているが、特に悪性腫瘍が疑われる場合には組織診が現在最も確実な診断法であるため、診断者に課された責任は重い。技官によって作製された標本の診断には、講座所属の病理専門医が当るが、患者と対面することなく顕

微鏡所見から適確な診断を下すためには、依頼書によって主治医から提供される臨床事項を参考にしつつ、主治医と共に考える立場に立たねばならない。この点が他の検体検査と異なる点である。

細胞診は、検体採取が容易で患者の苦痛が少ない検査として利用度が高く、国際細胞検査士の資格を持つ二名の技官が毎日夜遅くまで、顕微鏡下に悪性細胞を発見すべく努めている。剖検は、精魂を傾けた診療の評価を求める主治医の熱意が遺族を動かして初めて可能になるが、その開始時刻は死亡時刻と遺族の理解度に左右され一定しない。いわば病理部の緊急手術とも云うべく、年間総件数約90件中の三分の一が止むを得ず夜間・休日に行われている。

現在、以上の業務を専任技官三名、補助員二名、剖検介補者一名の配置を得て、病理学両講座と法医学講座の教官が協力して遂行している。昨年度の件数は、組織診六千九百件、細胞診四千八百件に上り、いずれも五年前の約二倍に膨れ上がっている。

病理部が果たすべき任務には以上のほか研修医の指導、貴重な標本・資料の管理・活用、院内CPCへの

参加、そして診療科との日常的な接触等があるが、専任病理医を欠く現状では手が伸びず苦慮している。専任教官の常在する正規の病理部をとの年来の願いは、国の現状からは当分実現しようにない。院内努力による打開をめざして有効な御意見や御支援が戴ければ幸いです。

(病理部 下田晶久)

【薬剤部】

副作用情報 (8)

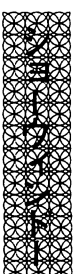
アドリアマイシンによる脱毛に対する予防

アドリアマイシン(ADM)は、副作用として脱毛、骨髄抑制、心毒性などがあります。なかでも脱毛は大部分のケースにみられ、患者にとっては美容上、また、日常生活の上でも心理的苦痛が大きく問題となっています。この脱毛を予防するために頭皮冷却法(頭皮低体温法、アイスバック療法)があります。これは頭皮を水で冷却することによって、頭皮血管を収縮させ、血流減少によって薬剤の作用を減少させ、脱毛を予防する方法であります。薬剤の投与前・投与中・投与後と適宜冷却を実施し、頭皮温度を摂氏十八〜二十四度くら

いに保つことによって、効果を期待するものであります。なお、副反応として頭が冷たい、重い、痛いなどと訴えることがあります。

最近 Wood (N. Engl. J. Med. 312(16):1060, 1985) は、この数カ月間におけるADM療法のための患者に大量の *dl-alpha-tocopherol acetate* (ビタミンE酢酸エステル: VE) を投与したところ、脱毛はほとんどみられず、VEは一日一六〇〇国際単位投与し、脱毛は十六例中五例にみられたと報告している。他の多くの例も、低〜中程度の頭髮減少を認めたと、帽子やかつらの必要はなかった。ADM初回投与の前日よりVE投与を開始する場合は、頭髮の減少防止と相関したと報告している。脱毛を生じた五例中三例はADMの前三日以後にVE投与を開始した例であった。それ以上前よりVE投与を開始した患者の多くは、脱毛を生じなかったと報告している。また、今後は、化学療法開始前五〜七日よりVE投与を開始するように計画しているとも述べています。

VE投与による脱毛予防は、用法・用量などに問題点があり、今後の研究に委ねるところが多いと思われる。(薬品情報室長 竹本 功)



八月のローマ。ベネト街。一軒の洋品店のショーウィンドーにはマリンブルーの色も鮮やかなパンタロン風のスーツが一点だけ、オブジェ風の枯枝に飾られています。これを見つけた家内は忽ち店に飛び込んで、他のものには目もくせず購めたそれは、さして上等でもないのにローマの明るい街でも、ポプリコやエニシダの咲き乱れる田舎に出ても美しく映えていました。帰国すると日本の風景には合わないようです。パリはマドレーヌの裏通り。靴屋のショーウィンドーにはゴシック風の靴が色違いで二足、今にも歩き出しそうにレイアウトされ、娘はその躍動感が気に入ったものか、大切に抱え込んでいます。

ショーウィンドーは店の顔です。主人が頭を悩ましたレイアウトと我々の選択の勝負が買ひ物のコツで、これは情報伝達と選択との関係に似ています。前回に続いて今回は情報「の圧縮」ということを書く積りなのです。毎日増える情報、どのように保管し、情報を取り出せるかが、現在の情報科学の命題です。情報圧縮の例として昔から

新聞の縮刷版があります。これは、物理的時系列的圧縮」とでも言うのでしょうか。

図書館に本を集めたり、厚い本の必要などころをコピーするのは、空間的圧縮”でしょう。ところで最近流行のコンパクトディスク(CD)はこの両者の性質を合わせもっています。しかし、圧縮してもいざ探したい情報入手には、余程の努力が必要で、今流行のCDカラオケも一昔前はカートリッジで、頭出しにマダムが苦労してましたね。

すなわち、情報圧縮とはものをただ小さくすることではなく、必要なものをどれば早く取り出せるようにするかということ、この道を、情報ハイウェイと呼びます。このハイウェイのインターチェンジが情報のリンクポイントで、そのプランチが各セクションのデータベースであり、情報処理におけるショーウィンドーともなり、その出来不出来が店主の儲け、すなわち情報効率を左右します。

今、私が走っているのは超音波とCTのプランチですが、自分の専門のX線診断のデータベースの構築は、考え始めてからも二十余年りたつのに失敗の連続です。御智恵拝借どうぞよろしく。(編集委員長 天羽一夫)